



2016 夏 LRT フォーラムを開催しました！ “都心臨海部における新たな交通システムの導入について考える”



7月2日午後、「横浜にLRTを走らせる会」と「横浜の公共交通活性化をめざす会」の主催で「2016夏LRTフォーラム“都心臨海部における新たな交通システムの導入について考える”」が、関内の波止場会館で開かれ、65名の参加者が集まりました。

このフォーラムは、横浜市が都心臨海部に導入するとして検討してきた新たな交通システムについて、短期的には2020年までにLRTではなくバスを活用した新たな交通（高度化バスシステム）を

導入する方針としたことに対して、横浜市に詳しい説明を求め、今後の課題や提案を検証したいというのが大きなテーマでした。

第1部の基調講演では、モビリティジャーナリストの森口将之氏が「道路は人のために、交通は街のために」と題して講演されました。森口氏は、国内外の交通事情を取材し、クルマを公共交通に「対立」するものではなく「共存」することが理想だとし、モビリティ＝（人間の）移動性、移動のしやすさ、クルマが主役ではない、公共交通が主役でもない、人間を主役として交通を考えること、を改めて強調され大変印象に残りました。

パリの交通政策についても詳しく説明されました。フランスは1982年のLOTI法の制定で世界で初めて「交通権」を定義したことは有名ですが、それによって人が自由に移動できる権利を持ち、自動車優先社会から廃止が続いた公共交通が再整備される契機になったとのこと。また、LRTがBRTなどと比べて優位性を持つことも強調され、日本で初めてLRTを導入しコンパクトなま

●日時：7月2日（土）午後1:30～4:30

●会場：波止場会館・多目的ホール

●第1部

基調講演・「道路は人のために、交通は街のために」

森口将之氏（株）モビリティ代表取締役/モビリティジャーナリスト
報告1・「横浜都心臨海部における新たな交通システム導入について」

松井恵太氏 横浜市都市整備局 都市交通部 都市交通課長

●第2部

報告2・「新たな交通システム導入に関する課題と提案について」

古川 洋氏 横浜にLRTを走らせる会 副理事長

報告3・「スペイン各都市におけるトラムの導入状況について」

小田部明人氏 横浜の公共交通活性化をめざす会 事務局長

※このフォーラムの様子はYouTubeで見ることが出来ます。

「2016夏LRTフォーラム」で検索